



民生委員・児童委員
シンボルマーク

民児協だより おの

小野市民生児童委員協議会

事務局/小野市 市民福祉部 社会福祉課内

電話/(0794)63-1011

第3号

平成25年(2013)4月1日発行

民生委員・児童委員は
あなたの相談相手です

地域住民の立場に
秘密を守り、
活動します

ご相談内容
の秘密は
守ります。

地域の人々を
見守り、支援
します

介護

育児

いじめ

お困りのことや
気になることが
ございましたら、
お気軽に
ご相談ください。



小野市民生児童委員協議会は、7校区107名の民生委員・児童委員・主任児童委員が活動しています。各校区には、代表委員を置き、毎月1回、校区代表者会議を持ち、関係部局と課題を審議し、年間4回の各校区別連絡会を開催し、各町の民生児童委員に伝達、協議する運びとなっています。また、民生児童協力委員さんの協力を頂き、小野市では、300余人で「安全安心な福祉のまちづくり」に取り組んでおります。

最後に「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンをご紹介します。近年、一人暮らし世帯が増加し、孤独死や子どもの虐待等々地域社会との交流が希薄化したために悲しい問題が頻繁に起きている現象はご存知のことと思います。この無縁社会を私たち一人ひとりが問い直し、人と人が繋がり支え合える社会の実現に向け、兵庫県社会福祉協議会の呼びかけによる「ストップ・ザ・無縁社会」キャンペーンを私たち小野市民生児童委員協議会も推進しております。地域福祉活動を実践している方々だけでなく社会全体で無縁社会の問題に取り組んでいただきますようお願いいたします。

前任の民生児童委員さんから「次は、頼むー」といとも簡単に引き継いだのが、私の民生児童委員としてのスタートでした。訳も分からぬまま、先ずは自分に出来ることから始めようと思い、小野小学校児童の登校時の立ち番から始めました。この場所は、一方通行路や時間帯通行禁止路もあり、また高校生の登校時刻と重なり、とても危険です。毎日、三叉路に立って「おはようー」と声をかけ続けて来ました。最初の内は、挨拶は返ってきませんでしたが、今では、児童の方から元気な声で「おはようございますー」と言ってくれるようになりました。

また、高齢の「人暮らしの方が粗大ごみを出せずに困っている」という相談を受け、幸い私は軽トラックを持っていますので、収集日に手伝うことになりました。次第に町の役員さんも一緒に町内を回って運んで下さるようになりました。

加えて、町の青少年健全育成会にも参加するなど、微力ではありますが、少しずつ地域の福祉に貢献出来るようになって参りました。

「ストップ・ザ・無縁社会」

小野市民生児童委員協議会 小野西校区代表 近都 征二



ひとり暮らし高齢者のつどい

小野市社会福祉協議会が市内在住のひとり暮らし高齢者（75歳以上）を対象にアトラクションやおせち風弁当での会食で元気に楽しく新年を迎えていただけるように、毎年1月に実施されている事業です。保育園児のアトラクションに目を細め「いつまでもお元気で!」との可愛い声援に思わず微笑んでいらっしゃいました。保健師による健康講話で簡単な体操指導を受けたり、和やかで楽しい時間を過ごされました。

送迎のため同席させていただいた各地区の民生児童委員に対して一言メッセージを頂戴しました。



小野平 藤原委員



天神東ヶ丘 甲斐委員

日頃からよくしてもらっています。特に台風が接近してきた時などに、民生委員さんから「大丈夫ですか?」などと心配して声掛けしてもらったりします。よく気遣いのある優しい民生委員さんです。

とても親切にしてもらっています

旭町 寺田委員

日頃から民生委員さんには大変お世話になっています。特に小野平はバスも通っておらず、日常生活で足が無い(交通が不便な)所です。

しかし、民生委員さんには日頃からよく声掛けしていただけており、車に乗せてもらったり用事を頼んだりして無理を聞いていただけて、非常に助かっています。



下米住町2区 横山委員

良くしてもらっています



下米住町3・4区 住本委員

優しい言葉をかけて下さいます



広渡町 小東委員

相談しやすい委員さんです

感謝しています



いつもありがとう

新部町・南青野 岩本委員



田園町 櫻井委員

よく訪問して下さいます



長尾町 岡田委員

親身になって考えて下さいます



西山町・桜台 藤井委員

いい民生委員さんで幸せです

活動紹介



地域の民生委員・ 児童委員として

小野西校区 民生児童委員

富田照代

私の地域は、世帯数もあまり多くなく、近年言われているように、少子高齢化が進んでいます。児童数が少なく、高齢者家族、ひとり暮らしが多くなってきました。今のところ、地域の問題は、高齢者の介護福祉サービスが主な内容です。

自分としては、日常での声かけ、立ち話、家のカーテンの開閉、電灯の明暗などで安全確認をしています。また、子育て中の親子さんには、町の行事の三世帯交流会のハイキング旅行、お祭りなどで話を聞いています。何か問題があれば、地域の人達、協力委員さん達に知らせてもらっています。それで市役所、社会福祉協議会、地域包括支援センターの担当の人達と一緒に解決しています。

これからも、自分なりに地域のお

せっかいおばさんとして、いろんな問題に関わっていいことだと思いますので、よろしくお願いします。



【三世帯交流のハイキング】

児童虐待を思う

小野東校区 主任児童委員

多鹿節子

最近の虐待事件と言えば、大阪で母親が幼児2人を置き去りにして餓死させた事件が未だ脳裏から離れる事があります。小野でも痛ましい事件がありました。この二件だけにしても、何故この様な事態が起こってしまったのかと考えてみると、事件をおこした当人の諸事情はもとよ

り、誰かが何かおかしいと気付き、手を差し出すことが出来なかったことにも悲劇の一因があるように思われます。

核家族の増加や個人主義は、他人への無関心さに向かうのではないのでしょうか？それらはまた地域の弱体化にもつながっていくのではないのでしょうか？誰か身内で、地域で、自治体で子ども達を心配する人が一人でもいたのなら、救われる児童がいるはずです。

虐待をなくすこととは大変困難かもしれませんが、一人の力では上手いきませんが、一人より二人、地域の人達、自治体も一緒にになって、誰かの異変やSOSに感心を持つ事が現在の社会の課題ではないでしょうか。



グラウンド・ゴルフで 老化防止を

河合校区 民生児童委員

藤井栄子

今から四年程前にAさんより、不

要になった畑を借りて、西山町にグラウンド・ゴルフ場を作ろうという意見が出た。有志で耕し、石ころを拾い、ローラーで何度も整地をして芝生を植えた。四年たった今、やっと全体に生え揃い、縦50m横30mの素晴らしいゴルフ場が完成した。毎週日曜日の朝、皆さん喜々として集まって来られる。もちろん一人暮らしのAさん、Mさんも一緒にプレーを楽しまれる。Aさんは八十八歳で、昨年転んでひざを骨折されたが、リハビリの甲斐があつて、今では杖で歩いておられる。又、暖かくなったら参加されることでしょう。Mさんは八十三歳であるが、お元気で若々しく、新米の私に、いろいろアドバイスをして下さる。

冬は焚き火をしながら雑談に花が咲き、夏は汗をかきながら取り立ての西瓜をほおばり、ホールイン・ワンの喜びをかみしめる。

先日栗生町や河合中町の方々が大勢、西山町にきて下さり、一緒にプレーを楽しんだ。日曜日だけでは勿体ないので、大勢の人に来てもらってプレーができたらいなと思う。年をとると家の中にこもりがちで

あるが、一歩外へ出て体を動かし、人と対話することによって元氣が出る。これからも地域を越えた交流の輪を広げて行きたいと願っている。



【グラウンド・ゴルフ】

遠慮なくご相談を

来住校区 民生児童委員
横山豊和

民生児童委員をお受けして、いつの間にか二年以上が経過しました。委員になって初めての自治会総会の席で民生児童委員として自己紹介をさせていただき「どんな些細なことでも遠慮なく相談して下さい。民生

児童委員とは、直接関係がないような事でも、お家に伺ってお話を聞きますから」と、「挨拶をしました。

最初は関係資料に目を通すなど、少しでも勉強して頑張ろうと意気込んでいましたが、いっこうに地域の方からの相談などありません。「どうして相談がないのだろうか」と、私の信用がないのだろうか」と、少し拍子抜けの感がありました。そして、独居の高齢者や高齢者世帯のお宅に安否確認等、日々の活動を続けるうちに段々分かって来ました。私の担当する地域は旧来からの農村で、皆さんの民情は純朴で「私事で民生児童委員さんに迷惑をかけたくない。」というお気持ちの方がたくさんいらっしゃるのです。

それからは、少し肩の力を抜いて活動をしていると、徐々に「一度相談にのって欲しい」と言われる方も何人かあり、医療費の減免手続、緊急通報装置の希望などと、件数は多くありませんが、一つ一つを処理していく内「地域の方のお役に立っているのかな」という充実感を感じています。

今年は、三年の任期の締め括りの

年として、訪問活動をはじめ民生児童委員として関わるあらゆる機会に「困っておられる事はありませんか？遠慮無く相談して下さいね。」と、声を掛けながら最後まで活動していきたいと思っています。



【訪問活動】

兵庫県民生児童委員 研修総会に参加して

市場校区 民生児童委員
山本登志子

九月三日、四日と神戸ポートピアホテルにて県下300名近くの民生児童委員の研修総会に参加させて頂き、民生委員・児童委員としての個

人情報の適切な取り扱い方を学び、また、民生児童委員の現状と問題点の解決に向けての意見交換をグループ演習で行った。

A委員さんは、二十代から団地の自治会長をし、現在は民生委員を兼ねての現役サラリーマン。団地では、毎朝ラジオ体操は欠かさず、四季折々の行事は、皆さんの楽しみの一つだそうです。

山合いに住むB委員さんは、廃校も間近な過疎の進んだ村。でも自分たちでサロンを立ち上げ、集会日には、全員が集まり楽しく暮らしていると、明るく話された。

沿岸部のC委員さんは、独居の方を気にかけて、度々訪問されていたのですが、体調を崩し入院された後、退院を知らされず、訪問できなかった間に孤独死されていたと残念がつて涙で話された。

さて、私達の町は、朝夕通勤の車が飛び交い、昼間は静かで穏やかな所ですが、少子高齢化の町になってしまいました。あと四、五年もすれば、一人暮らしの家庭も増えてくる事でしょう。今、私達団塊の世代が元氣な内に、A委員さん、B委員さ

人達の地域の様な、人と人が関わり合い、情報を共有し、後世に繋げて行ける活動を考えたいです。折角何かの縁あって、この町で生活しているのだから、人肌の温かさが感じられる町、笑い声が聞こえる町を目指して、研修で得た事、感じた事を、行動に変えて行けたらな...と思います。



【研修総会】

「地域児童 育成環境づくり フォーラム」 に参加して

大部校区 民生児童委員

廣瀬早苗

平成二十四年十月二十八日、三木市文化会館で北播磨・東播磨ブロックのフォーラムがありました。三木市と高砂市の活動紹介、基調講演と

して児童虐待のドラマ「やさしい花」を観た後、「親も子も笑顔になるために」の演題で対談がありました。

①虐待は誰も陥る過ち

②虐待をしたくて子どもを産む親はない

③虐待から子どもだけでなく親も救ってほしい

④子育てを「見張る」のではなく「見守る」

など、体験談を交え、実際に起きている話を聞きました。

私達の地域では、虐待は少ないかもしれませんが、近い将来核家族化が進み、ご近所とのコミュニケーションも少なくなり一人で抱え込むことで、この問題も増えてくると思います。私たち民生委員・児童委員も地域の人と一緒に声掛け「子育て」に協力していかなければと思います。



「成年後見制度」に 出会う

下東条校区 民生児童委員

藤原末敏

「成年後見制度」何処かで聞いた事があるような、パンフレットがあったような気がするが、あれ？どんな制度だったかなあ、と思ったります。

民生児童委員の委嘱を受けて、10年が過ぎようとしておりますが、今日までの活動の中で、成年後見制度を利用しようとしている人を聞くこともなく、実際に利用されている人を知ることありませんでした。

この度、初めてその必要性のある人と出会うことになりました。一般的には配偶者や親族等がおられるので、あまりこの制度を利用される方は少ないだろうと思います。でも今回のように親も配偶者もおらず、兄弟姉妹、甥姪にも見放されては、成年後見制度を利用するしか方法が見つかりませんでした。

通常では、めったに利用することはないだろうと思いますが、人はいづ、誰もが、全く必要ないとは言

切れない事でしよう。

認知症、知的障害、精神障害等で判断能力が不十分とわかった時点で、たとえ身内であったとしても、今回の如く急に誰もが、取り合わなくなってしまう事もあるようです。

本人の財産や金銭の管理、法的な手続き、悪徳商法の契約の取り消し等、様々な頼りになる制度となっています。

この制度のあらましは、小野市の高齢介護課より発行されている「ご存じですか、成年後見制度について」をご覧ください。詳しく説明されておりますので、お近くの民生児童委員へお尋ね下さい。



表彰状

優良民生委員児童委員協議会表彰を受賞

小野市民生児童委員協議会が、24年度の全国民生委員児童委員連合会会長表彰で、同賞を受賞しました。地域で高齢者訪問や子どもの見守り等、平素からの積極的な活動実績が評価され、県内で唯一の受賞という栄誉に輝きました。



協議会表彰を受ける岸本会長

永年勤続民生児童委員の知事表彰を受賞

民生児童委員として永年（10年以上）勤続された方に知事表彰が贈られます。小野市からは、下記の4名の委員さんが受賞されました。

（左から）
・神明団地／藤原 浩委員
・広 渡 町／小東洋子委員
・高 山 町／渡邊敏彦委員
・小 野 平／藤原末敏委員



H24年11月 兵庫県社会福祉大会にて

素敵な活動をご紹介

国の宝 見守りたい

高山町老人会 山本康之

「銀も 金も玉も 何せむに
まされる宝 子にしかめやも」
山上憶良

いにしへの奈良の都の人々も子をこのうえもなく大切に思っていたようです。少子高齢化という深刻な問題に直面している現在、子は国の宝と申せましょう。しかるに、近年目立って、児童が登下校時において交通事故や変質者による犯罪に巻き込まれて尊い命を落としたり、負傷したりする痛ましい事件が新聞やテレビを騒がせています。

平成二十年、高山町老人クラブ発足を機に、社会奉仕の一環として子ども見守り隊を結成しました。翌年一月には、小野市安全安心パトロール隊と連携して、活動を始めました。ほぼ毎日登下校時の児童の安全確保のため通学路及び交差点などで、児童の誘導や見守りを行っています。

子ども達と親しくなり語り合うことは、元気をもらう事ができて気が若くなります。思うようにいかない時もありますが、前途有望で個性豊かな子ども達の成長を目にするのは、とても楽しいものです。



あなたのまわりの“素敵な活動”をお知らせ下さい。また、民児協だよりへのご意見もお待ちしております。

お問合せ・連絡先

小野市民生児童委員協議会（事務局 社会福祉課内）

電話：0794-63-1011 / FAX：0794-63-1204 / E mail：fukusi@city.ono.hyogo.jp

編集後記

「民児協だより」おの「創刊号」の発行から季節は一巡りし、第3号をお届けします。まだまだ不慣れな編集委員ですが、校区ごとの民生児童委員さんの活動を文字にして見せていただくと、心のこもった地道なご努力にあらためて尊敬の念でいっぱいになります。広報紙の活字に載せて、委員さんの温かなお心もお伝えできればいいのに…と、いつも願っています。各号、快く執筆をお引き受け下さった皆様ありがとうございます。

また、これからお願ひする委員の皆様、その節はどうか宜しくお願いします。



編集委員

広報委員長
広報委員

〃 〃 〃 〃 〃

住山本 横山本 甲斐本 岩田本 上田本 小東本 飯井

祐子 志郎 圭子 明子 寛子 洋子 安子